



浅羽学園袋井市立浅羽北小学校学校だより

はばたけ

光と大地の子

修学旅行に行ってきました！

運動会を終えた翌週、6年生は、11月21日(火)・22日(水)の2日間、東京方面へ修学旅行に出掛けました。出発当日は、天候にも恵まれ、気持ちの良い朝！時間に余裕をもって集合し、笑顔で出発しました。

1日目には、グループごとに事前に立てた計画に従って上野恩賜公園内を散策し、その後、東京スカイツリーを訪れました。2日目には、国会議事堂を訪れた後、東京ドームシティアトラクション内をグループごとに散策しました。2日間の修学旅行を満喫し、無事に帰ってきた6年生の満面の笑顔から、「楽しかったんだな。」と感じました。2日間の様子を、少しですが、御紹介いたします。



「考える力」の育成を目指しています！

今年度の学校経営目標である「自分で考え 共に考え合い みんなが笑顔になれる学校～任せて認める指導を通して～」を受け、学びづくり部では、「考え、考え合い、学びを実感する子」の育成を目指しています。具体的には、①「わかった」「できた」につながる課題とは、②考え合うよさを実感できる協働的な学びとは、③学びの実感につながる振り返りの時間の確保と場の設定、という3つの視点で授業改善を進めています。お互いに授業を見合い、振り返りの時間をもつことで研修を深め、「考える力」の育成に向けて、日々努力しています。そんな浅羽北小学校の授業の様子を御紹介します。

また、HPにも、「浅羽北小、魅力ある授業の旅～考え、考え合い、学びを実感する子どもたち～」として紹介していますので、ぜひ御覧ください。

4年生理科

めあて：「空気をあたためたり、冷やしたりすると体積はどのように変わるのだろうか。」

これまでの授業を通して、子供たちは、試験管の口に付けた石けんの膜が、温めると膨らんだり、冷えると元に戻ったりすることで、温めると空気が上に行き、冷えると下に行く予想をしています。試験管の中の空気を温めたり、冷やしたりする実験を行い、空気の体積がどのように変化するか、グループで話し合いをしながら捉えていくことがねらいです。



5年生外国語

めあて：「行きたい場所への道順が分からないとき、どのようなやりとりをしたらよいのだろうか。」

授業は、外国語担当の教師とALTとのチームティーチングで行われており、積極的にコミュニケーション活動に取り組み、意欲的に発表する児童が多くなってきています。

これまでの授業を通して、道案内の表現にも少しずつ慣れてきており、自分が行きたい場所の位置を訪ねたり、相手の行きたい場所への道順を答えたりする活動が行われました。子供たちはペアを変えながら道案内のやり取りを繰り返し、最後には、ALTとやり取りを行いました。



6年生理科

めあて：「生き物は、食べ物を通して、どのように関わっているのだろうか。」

水中の小さな生物を観察することを通して、様々な動物の食べ物に着目し、生物同士の関わり合いを調べていきます。池の水の中にいる微生物を顕微鏡を使って観察しました。「何か動いている!」「これミジンコ!？」子供たちの声があちらこちらから聞こえてきます。教師は、各テーブルを回り、「よく見付けたね。」とか「他には何かいるかな?」と、子供たちの学習を価値付けるとともに、次の課題を示します。「水を替えてみようか?」「この藻の周りに何かいるんじゃない?」など、子供たち同士、考え合いながら、学びが進んでいきました。



資源回収への御協力、ありがとうございました!

12月16日(土)に、今年度2回目のPTA資源回収を行いました。当日、天候が心配されましたが、保護者様や地域の皆様の御協力により、**40,910円**の収益金がありました。この収益金は、子供たちの教育活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。